

研究タイトル:

コミュニティ・エンパワーメントの実践と方法



氏名:	河村信治 / KAWAMURA, Shinji	E-mail:	kawamura-g@hachinohe-ct.ac.jp
職名:	教授	学位:	博士(都市科学)
所属学会・協会:	日本都市計画学会、日本建築学会、地理情報システム学会、他		
キーワード:	環境まちづくり、まち育て、ワークショップ、震災復興支援		
技術相談 提供可能技術:			

研究内容: 地方都市における持続可能な地域づくりのためのまち育ての実践と方法論に関する研究

「ワークショップ」は、参加者主体で何かを創りあげたり、話し合ったりする場のことです。これまで私が携わってきたのは主に環境教育の参加型学習や市民参加型まちづくりのプログラムの企画、実践、研究です。市民参加手法として定着してきたワークショップですが、何をしたいのか、どのような参加のルールがあるのか、何ができるのか、など意識を明確にし、共有していないとこの方法のメリットを十分に引き出せないこともあります。形式に囚われるのではなく、多くの人との対等で対話的な関係から、創造的な発想や行動が生み出される可能性に期待しています。

「環境教育」とはひとの意識にはたらきかけて課題を解決しようとするアプローチであり、技術的解決を目指すアプローチ(環境技術)、ルールや制度による解決を目指すアプローチ(環境法など)と並ぶものです。こうした視点から、持続可能な社会の実現に向けて、市民主体の継続的な「まち育て」活動をファシリテートし支援していく実践(コミュニティ・エンパワーメント)の中で、以下のようなテーマや課題に関心を持っています。

- ・景観／都市イメージ形成とメディア・リテラシー
 - ・中心市街地活性化への環境教育的アプローチ
 - ・ユニバーサルデザインのまちづくり、自転車の走るまちづくり
 - ・地域資源の活用、地域循環、ツーリズム(エコ・ツーリズム、産業観光)
- ほか

【現在取り組んでいる具体的な実践・研究テーマ】

☆青森県八戸市を主舞台として、地方都市の文化の活性化や持続可能な地域づくりのための市民ワークショップや関連する活動の実践とその方法について

☆東日本大震災後の岩手県九戸郡野田村を活動の中心として復興まちづくり支援の実践とアクション・リサーチ

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	